

かつてプールの西側には阿下喜小学校の学校園があった。しかし、作るもの作るものサルに荒らされ、とうとう断念せざるをえなかった。当時の校長先生が残念そうに話してみえた▼教職員も入れ替わり当時のことを知るものはいないが、サルの出没は日常茶飯事で運動場には、毎朝シカと野兎の足跡が確認でき、フンもドンブリに3杯ほど拾える▼植物はプランターで育て、夜は昇降口に入れている。しかし、昨年は、昼間にサルにチューリップの花を荒らされてしまった▼にもかかわらず、1, 2年生の担任が子どもたちとどうしてもサツマイモを作りたいと言い始めた。学級園の復活計画が始まった▼以下、関わっていただいた方。①草だらけの土地を起こす②周りの木の伐採③サル除けの電柵の設置④古い風呂おけをいただく⑤牛肥の提供⑥電柵の資金援助。これらの段取りとお手伝いを一手に引き受けてくださったCS推進員さんと補助してくださった教頭先生。つまり当日は、数名のボランティアの方にも応援に来ていただいた▼たくさんの方のご協力のおかげで、本校の学級園が復活した。この場を借りてお礼を。ありがとうございます。話はこれで終わらない。なんと、金曜日には、同時に復活整備した校舎前の学級園に目を疑うような光景が目に入ってきた。5年生の担任が嬉しそうに報告してくれた。「ここに水田を作ることになりました」